

教科	科目	単位数	開設年次	選択群	作成担当者
保健体育	体育	3単位	1		
教科書					
副教材等					
① 科目の目標(学習指導要領)					
運動の合理的、計画的な実践をとして、運動の多様性や喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身につけるようにする。 生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。 運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。					

評価の観点

①知識 技能	②思考力 表現力	③学びに向かう力
それぞれの技術の名称と動きのポイント、戦術の特徴を理解しているか。	集団や自己の動きを分析して、良い点や修正点などを出せるか。	フェアプレーを大切にし、安全に練習したりゲーム等を行うことができたか。
それぞれの役割に応じた身体及び道具の操作をすることができるか。	課題解決の過程を踏まえて、集団や自己の新たな課題を発見することができるか。	練習やゲーム等に主体的に取り組み、仲間との信頼関係を深め、互いに助けあい高め合うことができたか。
フォーメーションや戦術を学び、ゲーム等を行うことができるか。	個人あるいは仲間とともにスポーツを楽しむための調整の仕方を見つけたことができたか。	用具の準備や後片付け、審判などの役割を主体的に行い、責任を果たすことができたか。

上記の観点を以下の基準で評価します。

	評価Aとなること	評価Bとなること	評価Cとなること
①知識 技能	上記項目を3つ全て達成した。	上記項目を1つ以上達成した。	上記項目を達成できなかった。
②思考力 表現力	上記項目を3つ全て達成した。	上記項目を1つ以上達成した。	上記項目を達成できなかった。
③学びに向かう力	上記項目を3つ全て達成した。	上記項目を1つ以上達成した。	上記項目を達成できなかった。

年間指導計画および各観点評価の

月	単元名	主な学習(指導)内容	実時	評価項目			評価のポイント(規準)
				①	②	③	
4	オリエンテーション 体づくり運動(男女) 集団行動(男女) 体育理論(男女)	授業の心得 筋力トレーニング、ストレッチング 隊列変換、行進 スポーツの歴史的発展と多様な変化	1 3 3 2	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	授業に関するルールについての説明。話を聞く態度。 体力テストに活かせるよう強度を段階的に上げていけるか。 基礎技術を学び、全体の中で活かせるか。 スポーツの文化的特性や現代スポーツの発展について理解すること。
5	体力テスト(男女) マット運動(男子) ダンス(女子)	握力、長座体前屈、反復横とび、立ち幅とび、上体おこし、50m走、持久走、ボール投げ 前転、後転、開脚後転、伸膝前転、ロングダート 創作ダンス	5 14	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	正しい測定方法で実施しているか。周りと協力しているか。 基礎点と応用点を理解して、技の向上に努めているか。 班で協力し、ダンスを完成させようとしているか。
6	サッカー(男子) バレーボール(女子)	バス、トラップ、シュート、切り返し、ミニゲーム、ゲーム バス、トス、レシーブ、スパイク、サーブ、フォーメーション、ゲーム	2	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	基礎技術を大切にし、チームで戦術を立てるなどして協力しているか。 準備や後片付けを協力し、基礎技術の習得に努力しているか。
7	サッカー(男子)		12	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	
8	バレーボール(女子)						
9	バレーボール(男子) マット運動(女子)	バス、トス、レシーブ、スパイク、サーブ、フォーメーション、ゲーム 前転、後転、開脚後転、伸膝前転、ロングダート	12	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	準備や後片付けを協力し、基礎技術の習得に努力しているか。 基礎点と応用点を理解して、技の向上に努めているか。
10	バレーボール(男子) マット運動(女子)		2	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	
11	柔道(男子) バドミントン(女子) 体育理論(男女)	受け身、固め技、立ち技 ハイクリアー、ヘアピン、ブッシュ、スマッシュ、サーブ、ゲーム 現代のスポーツの意義や価値	14 2	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	安全に配慮し、技の習得に主体的に取り組んでいるか。 準備や後片付け、相手を敬う気持ちを大切にしているか。
12	バレーボール(男女)		9	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	ゲームの中で役割を見つけ主体的に動いているか。 安全に配慮し、自分の技術に合わせた滑走を心がけているか。
1	スキー(男女)	ブルーク、シュテム、ずらしのターン、カービングターン、総合滑走	18	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	
2	体力テスト(男女)	握力、長座体前屈、反復横とび、立ち幅とび、上体おこし、50m走、持久走、ボール投げ	4	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	
3	体育理論(男女)	スポーツの経済効果と高潔さ スポーツが環境や社会にもたらす影響	2	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	

教科	科目	単位数	開設年次	選択群	作成担当者
保健体育	体育	2単位	2		
教科書					
副教材等					
① 科目の目標(学習指導要領)					
運動の合理的、計画的な実践をとして、運動の多様性や喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身につけるようにする。生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。					

評価の観点		
①知識 技能	②思考力 表現力	③学びに向かう力
それぞれの技術の名称と動きのポイント、戦術の特徴を理解しているか。	集団や自己の動きを分析して、良い点や修正点などを出せるか。	フェアプレーを大切にし、安全に練習したりゲーム等をする事ができたか。
それぞれの役割に応じた身体及び道具の操作をすることができるか。	課題解決の過程を踏まえて、集団や自己の新たな課題を発見することができるか。	練習やゲーム等に主体的に取り組み、仲間との信頼関係を深め、互いに助けあい高め合うことができたか。
フォーメーションや戦術を学び、ゲーム等を行うことができるか。	個人あるいは仲間とともにスポーツを楽しむための調整の仕方を見つけることができたか。	用具の準備や後片付け、審判などの役割を主体的に行い、責任を果たすことができたか。

上記の観点を以下の基準で評価します。

	評価Aとなること	評価Bとなること	評価Cとなること
①知識 技能	上記項目を3つ全て達成した。	上記項目を1つ以上達成した。	上記項目を達成できなかった。
②思考力 表現力	上記項目を3つ全て達成した。	上記項目を1つ以上達成した。	上記項目を達成できなかった。
③学びに向かう力	上記項目を3つ全て達成した。	上記項目を1つ以上達成した。	上記項目を達成できなかった。

年間指導計画および各観点評価の

月	単元名	主な学習(指導)内容	実時	評価項目			評価のポイント(規準)
				①	②	③	
4	オリエンテーション 体づくり運動(男女) 集団行動(男女) 体育理論(男女)	授業の心得 筋力トレーニング、ストレッチング 隊列変換、行進 運動やスポーツの技能と体力及びスポーツによる障害	1 3 2 2	☐	☐	☐	授業に関するルールについての説明。話しを聞く態度。 体力テストに活かせるよう強度を段階的に上げていけるか。 基礎技術を学び、全体の中で活かせるか。 運動やスポーツの効果的な学習の仕方について理解すること。
5	体力テスト(男女)	握力、長座体前屈、反復横とび、立ち幅とび、上体おこし、50m走、持久走、ボール投げ	5	☐	☐	☐	正しい測定方法で実施しているか。周りと協力しているか。
6	ソフトテニス(男子)	サーブ、フォアハンドストローク、バックハンドストローク	14	☐	☐	☐	基礎点と応用点を理解して、技の向上に努めているか。
7	ダンス(女子)	創作ダンス		☐	☐	☐	基礎技術を大切にし、試合の戦術を立てるなどしているか。 準備や後片付けを協力し、基礎技術の習得に努力しているか。 班で協力し、ダンスを完成させようとしているか。
8	バレーボール(男子)	パス、トス、レシーブ、スパイク、サーブ、フォーメーション、ゲーム	12	☐	☐	☐	基礎技術を大切にし、チームで戦術を立てるなどして協力しているか。
9	ソフトテニス(女子)	サーブ、フォアハンドストローク、バックハンドストローク		☐	☐	☐	準備や後片付けを協力し、基礎技術の習得に努力しているか。 基礎技術を大切にし、試合の戦術を立てるなどしているか。 準備や後片付けを協力し、基礎技術の習得に努力しているか。
10	柔道(男子)	受け身、固め技、立ち技	12	☐	☐	☐	安全に配慮し、技の習得に主体的に取り組んでいるか。
11	バレーボール(女子)	パス、トス、レシーブ、スパイク、サーブ、フォーメーション、ゲーム		☐	☐	☐	準備や後片付けを協力し、相手を取るか気持を大切にしているか。
12	体育理論(男女)	スポーツの技術と技能及びその変化	2	☐	☐	☐	基礎技術を大切にし、チームで戦術を立てるなどして協力しているか。 準備や後片付けを協力し、基礎技術の習得に努力しているか。
1	スキー(男女)	ブルーク、シュテム、ずらしのターン、カービングターン、総合滑走	15	☐	☐	☐	安全に配慮し、自分の技術に合わせた滑走を心がけているか。
2							
3	体育理論(男女)	運動やスポーツの技能の上達過程 運動やスポーツの活動時の健康・安全の確保の仕方	2	☐	☐	☐	

教科	科目	単位数	開設年次	選択群	作成担当者
保健体育	体育	2単位	3		
教科書					
副教材等					
① 科目の目標(学習指導要領)					
運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の多様性や喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身につけるようにする。					
生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。					
運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。					

評価の観点		
①知識 技能	②思考力 表現力	③学びに向かう力
それぞれの技術の名称と動きのポイント、戦術の特徴を理解しているか。	集団や自己の動きを分析して、良い点や修正点などを出せるか。	フェアプレーを大切にし、安全に練習したりゲーム等を行うことができたか。
それぞれの役割に応じた身体及び道具の操作をすることができるか。	課題解決の過程を踏まえて、集団や自己の新たな課題を発見することができるか。	練習やゲーム等に主体的に取り組み、仲間との信頼関係を深め、互いに助けあい高め合うことができたか。
フォーメーションや戦術を学び、ゲーム等を行うことができるか。	個人あるいは仲間とともにスポーツを楽しむための調整の仕方を見つけたことができたか。	用具の準備や後片付け、審判などの役割を主体的に行い、責任を果たすことができたか。

上記の観点を以下の基準で評価します。

	評価Aとなること	評価Bとなること	評価Cとなること
①知識 技能	上記項目を3つ全て達成した。	上記項目を1つ以上達成した。	上記項目を達成できなかった。
②思考力 表現力	上記項目を3つ全て達成した。	上記項目を1つ以上達成した。	上記項目を達成できなかった。
③学びに向かう力	上記項目を3つ全て達成した。	上記項目を1つ以上達成した。	上記項目を達成できなかった。

年間指導計画および各観点評価の

月	単元名	主な学習(指導)内容	実時	評価項目			評価のポイント(規準)
				①	②	③	
4	オリエンテーション 体づくり運動(男女) 集団行動(男女) 体育理論(男女)	授業の心得 筋力トレーニング、ストレッチング 隊列変換、行進 ライフステージにおけるスポーツの楽しみ方	1 3 2	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	授業に関するルールについての説明。話を聞く態度。 体力テストに活かせるよう強度を段階的に上げていけるか。 基礎技術を学び、全体の中で活かせるか。 豊かなスポーツライフの設計の仕方について理解すること。
5	体力テスト(男女)	握力、長座体前屈、反復横とび、立ち幅とび、上体おこし、50m走、持久走、ボール投げ	5	○	○	○	正しい測定方法で実施しているか。周りと協力しているか。 基礎技術を大切にし、チームで戦術を立てるなどして協力しているか。
6	サッカー(男子)		15	○	○	○	準備や後片付けを協力し、基礎技術の習得に努力しているか。
7	バレーボール(女子)	パス、トス、レシーブ、スパイク、サーブ、フォーメーション、ゲーム		○	○	○	基礎技術を大切にし、試合の戦術を立てるなどしているか。 準備や後片付けを協力し、基礎技術の習得に努力しているか。
8	第1期 選択制	サッカー・バスケットボール・バレーボール・ソフトテニスから1種目選択	14	○	○	○	基礎技術を大切にし、チームで戦術を立てるなどして協力しているか。 準備や後片付けを協力し、基礎技術の習得に努力しているか。
9	体育理論(男女)		2		○	○	安全に配慮し、技の習得に主体的に取り組んでいるか。 準備や後片付け、相手を敬う気持ちを大切にしているか。
10	第2期 選択制	バドミントン・バレーボール・卓球・ダンスから1種目選択	14	○	○	○	基礎技術を大切にし、チームで戦術を立てるなどして協力しているか。 準備や後片付けを協力し、基礎技術の習得に努力しているか。
11							安全に配慮し、技の習得に主体的に取り組んでいるか。
12	体育理論(男女)		2		○	○	準備や後片付け、相手を敬う気持ちを大切にしているか。
1		家庭学習期間					
2							
3							

教科	科目	単位数	開設年次	選択群	作成担当者
保健体育	保健	1単位	1		
教科書	現代高等保健体育(50 大修館 保体701)				
副教材等					
① 科目の目標(学習指導要領)					
1単元 健康の考え方、現代の感染症とその予防、生活習慣病などの予防と回復、喫煙、飲酒、薬物乱用と健康、精神疾患の予防と回復について理解を深める。					
2単元 安全な社会づくり、応急手当について理解するとともに、課題を見つけ、その解決に向けて考え、表現できるようにする。					

評価の観点

①知識 技能	②思考力 表現力	③学びに向かう力
個人生活および社会生活における健康・安全に関する諸問題について理解し、技能を習得しているか。	個人生活や社会生活における健康・安全について、課題を見つけ、その解決をめざして適切な方法や解決方法を考え、表現しているか。	個人生活や社会生活における健康・安全について関心をもち、学習に進んで取り組んでいるか。

上記の観点を以下の基準で評価します。

	評価Aとなること	評価Bとなること	評価Cとなること
①知識 技能	学習項目の85%以上	学習項目の60%以上	—
②思考力 表現力	各検査等の85%以上	各検査等の60%以上	—
③学びに向かう力	授業等への参加80%以上	授業等への参加60%以上	—

年間指導計画および各観点評価の

月	単元名	主な学習(指導)内容	実時	評価項目 ① ② ③	評価のポイント(規準)
4	1 単元 1 健康の考え方と成り立ち	わが国の現在の健康水準や健康問題の変化、および今日の健康課題について学ぶ。健康の成立要因をふまえて、自分なりの健康の捉え方について考える。	2	○ ○ ○	WHO憲章や生きがいを重視した健康の考え方の例をあげることができる。 主体要因と環境要因を具体的にあげて説明している。 わが国の健康水準の変化を説明し、健康問題の変化と新たな健康問題をあげ、それら原因について説明している。
5	2 私たちの健康のすがた		2	○ ○ ○	
6	3 生活習慣病の予防と回復 4 がんの原因と予防 5 がんの治療と回復	生活習慣病の種類とその要因について学ぶとともに、予防、早期発見、個人や社会の対策について考える。 わが国の死因の第1位となっているがんについて、その種類、原因、予防、治療について学ぶとともに、社会的対策の現状と必要性について考える。	2 2 2	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	代表的な生活習慣病の種類をあげ、一次予防、二次予防が何か説明できる。 がんの種類をあげ、がんの標準治療の種類とその特徴、緩和ケアの目的について説明している。 がん検診の普及や情報サービスなどについて説明している。
7	6運動と健康 7食事と健康 8休養・睡眠と健康	運動、食事、休養・睡眠といった生活習慣が、生活習慣病の予防をはじめ、健康の保持増進に大きく関連していることを学ぶとともに、人々が適切なライフスタイルを身につけるための対策を考える。	1 1 1	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	運動の重要性や課題について理解し、運動の種類や強度による運動の効果とその適切な行い方を説明している。 食事の重要性と不適切な食事による健康問題について理解し、バランスのよい食事と規則的に食事をとることについて説明している。 休養の重要性を認識し、睡眠の重要な働きと健康によい睡眠のとり方を具体的に説明している。
8	9喫煙と健康 10飲酒と健康	喫煙、飲酒、薬物乱用が心身に与える健康問題と社会問題について学ぶとともに、それらの問題を改善するための、個人や社会の対策について考える。	2 1	○ ○ ○ ○ ○ ○	喫煙者の悪影響と受動喫煙の害について理解し、喫煙の開始・継続要因と個人と社会環境への対策を説明している。 飲酒による短期と長期の健康影響を理解し、飲酒の開始要因を踏まえ、個人と社会環境への対策を説明している。
9	11薬物乱用と健康		2	○ ○ ○	薬物乱用が心身に及ぼす影響と社会影響を理解し、薬物乱用の開始要因と個人と社会環境への対策を説明している。
10	12精神疾患の特徴 13精神疾患の予防 14精神疾患からの回復	おこな精神疾患と要因、予防と治療、また精神保健の今日的課題について学ぶとともに、精神疾患の適切なケアのための社会環境について考える。	1 1 1	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	精神疾患の発病の要因と特徴的な症状を説明し、精神疾患の罹患者の特徴や多様化している課題をあげている。 精神疾患を予防する方法を説明し、早期発見のために必要なことを具体的にあげて説明している。 精神疾患の治療や支援の方法を説明し、適切な治療や回復のために必要な社会環境について説明している。
11	15現代の感染症 16感染症の予防	新興感染症や再興感染症といった現代の感染症の現状と今日的課題、予防対策について学ぶ。また性感染症・エイズの実態と課題について、日本および世界の現状を学ぶ。また感染症予防について、個人や社会の対策について考える。	2 2	○ ○ ○ ○ ○ ○	感染症とは潜伏期間があったり、病原体によって感染力に強弱があったりすることを説明している。 新興感染症と再興感染症を理解し、予防対策を3原則から説明している。 感染症に対して個人と社会全体が行う対策を説明している。 性感染症・エイズの感染経路や治療法について他の感染症と比較しながらその違いを説明し、個人の行動と社会の対策について例をあげている。
12	17性感染症・エイズとその予防		2	○ ○ ○	
1	18健康に関する意思決定・行動選択 19健康に関する環境づくり	健康の保持増進のための意思決定・行動選択の重要性と影響する要因について学び、よりよい意思決定・行動選択の方法や工夫の仕方について学ぶ。また健康づくりには、ヘルスプロモーションの考え方にもとづく環境づくりが重要であることを学ぶ。	1 1	○ ○ ○ ○ ○ ○	意思決定・行動選択の個人的要因と社会的要因を説明し、適切な意思決定・行動選択を説明している。 自然環境、政策や制度、地域活動などの社会環境と健康との関連の例をあげて、その影響を説明している。 ヘルスプロモーションの考え方とそれにもとづく環境づくりの特徴について説明している。
2	2単元 1事故の現状と発生要因 2安全な社会の形成 3交通における安全	わが国の不慮の事故の実態と事故発生に関連する要因について学ぶとともに、安全な社会を形成するための個人や社会の対策について考える。また、交通事故の防止の観点から、運転者の責任、個人や社会の対策等について考える。	1 1 1	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	事故の実態について具体的に説明し、人的要因と環境要因が関連していることを説明している。 危険予測や危険回避など個人の行動を説明し、法律や条例の整備などの説明をしている。 個人の適切な行動と交通環境の整備について説明し、刑事上、民事上、行政上のそれぞれに分けて説明している。
3	4応急手当の意義とその基本 5日常的な応急手当 6心肺蘇生法	けがや急病に対する応急手当の意義や方法について学び、日常的な応急手当ができるようにする。また、心肺停止状態の人の命を救うために行う心肺蘇生法の意義と方法を学び、実習を通して正しく実施できるようにする。	1 1 1	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	応急手当の意義について説明し、傷病者を発見したときのポイントをあげている。 けがの種類や熱中症の程度に応じた応急手当の手順や方法について説明している。 心肺蘇生法の方法と手順について説明している。

教科	科目	単位数	開設年次	選択群	作成担当者
保健体育	保健	1単位	1		
教科書	現代高等保健体育(50 大修館 保体701)				
副教材等					
① 科目の目標(学習指導要領)					
3単元 生涯を通じる健康について理解を深め、健康に関する情報から課題を発見し、解決の方法を思考し判断するとともに、それらを表現できるようにする。					
4単元 健康を支える環境づくりについて理解を深め、健康づくりに関する情報から課題を発見し、解決の方法を思考し判断するとともに、それらを表現できるようにする。					

評価の観点

①知識 技能	②思考力 表現力	③学びに向かう力
生涯を通じる健康および健康を支える環境づくりに関する情報から課題を発見し、理解している。	生涯を通じる健康および健康を支える環境づくりに関する情報から課題を発見し、解決の方法を思考し判断するとともに、それらを表現することができる。	生涯を通じる健康および健康を支える環境づくりに関心を持ち、学習に進んで取り組んでいる。

上記の観点を以下の基準で評価します。

	評価Aとなること	評価Bとなること	評価Cとなること
①知識 技能	学習項目の85%以上	学習項目の60%以上	—
②思考力 表現力	各検査等の85%以上	各検査等の60%以上	—
③学びに向かう力	授業等への参加80%以上	授業等への参加60%以上	—

年間指導計画および各観点評価の

月	単元名	主な学習(指導)内容	実時	評価項目			評価のポイント(規準)
				①	②	③	
4	3単元 1 ライフステージと健康	・ライフステージと健康の関連について説明できる。 ・各ライフステージで活用できる社会からの支援について例をあげることができる。	2	○	○	○	問題プリントや要約ノートに真摯に取り組んでいる。【学びに向かう力】 設問に対して適確に解答を作成できる。【知識 技能】 意見や発表等の演習において、内容を理解し、完成や発表にむけて努力している。【思考力 表現力】 積極的にグループ演習に参加している。【学びに向かう力】 発表等に備え、協力して準備等をおこなっている。【思考力 表現力】
5	2 思春期と健康	・思春期における体の変化を、女性と男性に分けて説明できる。 ・思春期の心の発達にかかわって起こる問題について例を	2	○	○	○	
6	3 性意識と性行動の選択	・性意識の男女差について例をあげて説明できる。 ・性情報が性行動の選択に影響を及ぼす例をあげることができる。	2	○	○	○	
	4 妊娠・出産と健康	・妊娠・出産の過程における健康課題について説明できる。 ・妊娠・出産期に活用できる母子保健サービスの例をあげることができる。	2	○	○	○	
7	5 避妊法と人工妊娠中絶	・家族計画の意義と適切な避妊法について説明できる。 ・人工妊娠中絶が心身に及ぼす影響について説明できる。	2	○	○	○	
8	6 結婚生活と健康	・心身の発達と結婚生活の関係について説明できる。 ・結婚生活を健康的に送るために必要な考え方や行動をあげることができる。	2	○	○	○	
	7 中高年期と健康	・加齢にともなう心身の変化について例をあげて説明できる。 ・高齢社会に必要な社会的な取り組みについて例をあげて説明できる。	1	○	○	○	
9	8 働くことと健康	・働くことの意義と健康とのかかわりについて説明できる。 ・働き方や働く人の健康問題の変化について説明できる。	2	○	○	○	
	9 労働災害と健康	・労働災害の種類とその原因について例をあげて説明できる。 ・労働災害を防止するために必要なことをあげることができる。	2	○	○	○	
10	10 健康的な職業生活	・職場がおこなう健康に関する取り組みについて例をあげて説明できる。 ・余暇を積極的にとることの意義について説明できる。	2	○	○	○	
11	4単元 1 大気汚染と健康	・大気汚染の原因と健康への影響について例をあげて説明できる。	2	○	○	○	問題プリントや要約ノートに真摯に取り組んでいる。【学びに向かう力】 設問に対して適確に解答を作成できる。【知識 技能】 意見や発表等の演習において、内容を理解し、完成や発表にむけて努力している。【思考力 表現力】 積極的にグループ演習に参加している。【学びに向かう力】 発表等に備え、協力して準備等をおこなっている。【思考力 表現力】
12	2 水質汚濁、土壌汚染と健康	・大気にかかわる地球規模の健康問題について例をあげて説明できる。 ・水質汚濁、土壌汚染の原因とその健康影響を説明できる。	1	○	○	○	
	3 環境と健康にかかわる対策	・大気、水、土壌にまたがる複合的な環境汚染の発生のしくみ。 ・環境汚染による健康被害を防ぐ方法について説明できる。	2	○	○	○	
1	4 ごみの処理と上下水道の整備	・産業廃棄物の処理について説明できる。 ・ごみの処理の現状やその課題について説明できる。	2	○	○	○	
	5 食品の安全性	・上下水道のしくみと健康にかかわる課題を説明できる。 ・食品の安全性と健康とのかかわりについて説明できる。 ・食品の安全性に関する今日的課題について説明できる。	2	○	○	○	
2	6 食品衛生にかかわる活動	・食品の安全性を確保するための行政や製造者の役割について説明できる。 ・食品の安全性を確保するための個人の役割について説明できる。	1	○	○	○	
	7 保健サービスとその活用	・保健行政の役割について例をあげて説明できる。 ・保健サービスの活用の例をあげることができる。	1	○	○	○	
3	8 医療サービスとその活用	・わが国における医療保険のしくみについて説明できる。 ・さまざまな医療機関の役割について説明できる。	2	○	○	○	
	9 医療品の制度とその活用	・医薬品の正しい使用法について説明できる。 ・医薬品の安全性を守る取り組みについて例をあげて説明できる。	1	○	○	○	
3	10 さまざまな保健活動や社会的対策	・国際機関・民間機関などの保健活動について例をあげて説明できる。 ・行政機関による社会的対策について例をあげて説明できる。	1	○	○	○	
	11 健康に関する環境づくりと社会参加	・健康の保持増進のための環境づくりについて説明できる。 ・環境づくりへの主体的な参加が自他の健康づくりにつな	1	○	○	○	